

異文化理解を視野に入れた英語教育の研究

研究分野: 英語教育学, 異文化コミュニケーション, 中間言語語用論

キーワード: 英語教育, 異文化理解, 語用論, 音声指導, サービスラーニング

貢献できるSDGsの区分:



地域創造学部 公共政策学科 教授 山崎 祐一

教員情報URL <https://sun.ac.jp/researchinfo/yamasaki/>

研究概要

このグローバル化した時代の中, 伝統的な地域社会とは異なる新しいコミュニティは, 「地球規模で考える」という生き方を基軸としており, 外国人居住者の増加という現実には, **異文化を背景とする他者との共生・異文化コミュニケーション**の成立がコミュニティの重要な指標であることを如実に物語っています。学習者たちは外国語を学ぶと同時に, 外国の生活や文化に興味を持ち, 諸外国の人々の価値観を認め, 協調して生きていこうとする態度を養う努力を怠らないことが重要です。

そのために, 外国語教育は大きな役割を果たします。例えば, どのような場面でもどのように発話するのかという**語用論的理解や能力の欠如**が, 異文化コミュニケーションにすれ違いをもたらします。外国語で他者とかがかわる際, 目的や場面, 状況に応じたコミュニケーションにおける表現方法が, 文化的に異なる場合があるからです。

外国語を学ぶことは「新しい視点」を得ることです。1つの世界を2つの視点から見て, 私たちはもっと楽しく面白く生きていくことができます。異文化に関する知識の獲得と外国語(英語)学習に対する動機づけとの関連, また, コミュニケーションの効果性と行動の適切性が外国語(英語)を使った円滑な異文化コミュニケーションの実現にどのような影響を及ぼすかについて追究しています。



産学連携の可能性(アピールポイント)

佐世保商工会議所と連携し, 佐世保市における「**住みよい街づくり**」と「**街の経済の活性化**」を目的に, 佐世保市在住のアメリカ人を市内店舗に呼び込む「**フレンドシップ・ビジネス事業**」を展開しました。本学学生も通訳として積極的に参加し, **地域の異文化共生にもたらす効果について検証**しています。また, 英語教育関連WG委員として, 市内の小中学校の**英語教育の在り方等について協議**しています。

外部との連携実績等

長崎県教育委員会(長崎県グローバル人材育成協議会委員)

佐世保市教育委員会(英語で交わるまちSaseboプロジェクト・Global Kidsチャレンジ事業講師)

佐世保市教育センター(英語授業改善講師)(課題研修「英語」講師)

佐世保市, 平戸市, 西海市, 大村市, 波佐見町(大学等と連携した英語指導力向上事業講師)

佐々町(サポートティーチャー), お茶の水女子大学附属小学校(英語異文化理解講師)

佐世保市立江上小学校(英語教育国際交流講師), 長崎県立佐世保北高等学校(学校評議員) など。